



やなぎだ昌孝

市政報告

Vol.7

日本維新の会奈良市議団 所属
〒630-8043 奈良市六条1丁目12-2 TEL: 0742-46-2888
<https://m-yanagida.com>

Home page



Facebook



X



Instagram



奈良市議会の柳田昌孝は、新年度予算案を審議する市議会令和7年3月定例会で所属する会派「日本維新の会」を代表して質問に登壇し、市が建設を目指しているクリーンセンターや、大阪万博を契機にした観光客誘致、新年度予算案の中身について市の考えをいただきました。私の質問に対し、市長は七条地区で目指すクリーンセンターの候補地選定について「議会の状況などを総合的に検討して決定」と、議会の意見を尊重する意向を明らかにしました。

最終候補地選定に議会の意見尊重姿勢

クリーンセンター 七条地区反対請願採択、市長の考えただす

市は新たなクリーンセンターの建設を七条地区で進めようとしています。当初は大和郡山市などと広域化を前提としたため七条地区を「適地」と判断してきた経緯があります。しかしながら広域化の計画が頓挫した今、市は単独でも七条地区＝写真＝で建設しようとし、賛否の議論があります。

今後、奈良市だけでなく全国的に人口が減少していくことが確実視される中、他市町村と広域化による建設、運営がコストの負担も軽減され、将来



的にも有効な形ではないかと私は、市の考えをいただきました。

仲川元庸市長は私の質問に対し「国の方針でも広域化を推進しており、財政面を含めて有効な手法。将来的な広域化がある意味必然の流れであると考えている。一方で自治体ごとに施設の状況や考え方、財政力なども千差万別であり、同時にスタートさせるのは難しいこと。隣接する自治体同士で今後、どういう連携ができるのか、さまざまな場面をとらえて情報共有や働きかけをしていきたい」と答弁されました。

市は七条地区をクリーンセンター建設の有力候補地としていますが、市議会は近隣住民らから提出された「建設に反対する請願」を採択し、七条地区はふさわしくないとの判断をしています。しかしながら、市の諮問機関

の策定委員会では七条地区を候補地とする可能性を残して審議されています。この状況について市長の考えをいただきました。

市議会で建設反対の請願が採択されたことを受け仲川市長は「候補地から外すべきとの意見が策定委員会に出されたが、その一方で除外すべきではないとの意見が出され、採決の結果、除外しないことを決定された。候補地の選定については、策定委員会の結論を基に議会の状況などを総合的に検討し、最終的な決定をしていきたい」と述べられました。

候補地の決定について市長が、建設反対の請願を採択し市議会が否定した七条地区を除外しない策定委員会の結論だけでなく「市議会の状況など総合的に」と発言されたことは非常に大きい意味を持つと考えています。

観光客誘致

万博会場でVR動画放映、県内市町村とも連携へ

大阪・関西万博が幕を開けました。これまで私は万博を契機に奈良への観光客誘致を促す取り組みの推進を市に提案してきましたが、新年度予算案の中で具体的にそのような施策を講じているか、また活性化につなげていくか市の考えを問いました。

市は「万博は国内外の多くの来訪者を惹きつける国際的なイベント」とし、観光客誘致に向けて万博会場内のシアタールームで「古都奈良の文化財」に代表される社寺建築や、

柳生、月ヶ瀬の自然の美しさをテーマにしたVR動画を放映すると述べました。

またリピーターの確保に向けた施策については、市を一度訪れた観光客が再び訪れたいくなるような新しい観光体験を提供する一過性ではない息の長い取り組みが必要とし、田原本町や明日香村、吉野町など、県内市町村と連携した体験プログラムやグルメイベントを実施していると説明。

新年度からはさらに、各地域で特別



万博会場内のシアタールームで社寺建築や月ヶ瀬の自然などをテーマにしたVR動画を放映される（写真は「古都奈良の文化財」に含まれる薬師寺をパノラマ撮影）

な体験ができるツアーや特産品を使ったグルメメニューの開発などを企画しており、他市町村と連携してさまざまな魅力を発信し、市内の滞在時間や観光消費額の増加につなげたい考えです。